

豆知識：害虫に対する勘違い？

人が不快に思う害虫と、桜への被害が多い害虫は一致しないみたい。
刺さない毛虫もいます。毒のない毛虫もいます。
(余談ですが、モンクロシャチホコって炒ると美味しいらしいです…)



アメリカ
シロヒトリ



モンクロ
シャチホコ



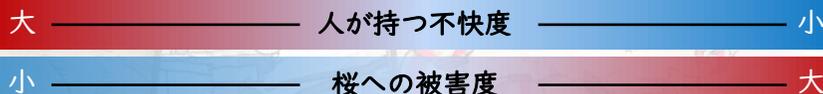
アオドウガネ
(コガネムシ)



コスカシバ



クビアカツヤ
カミキリ



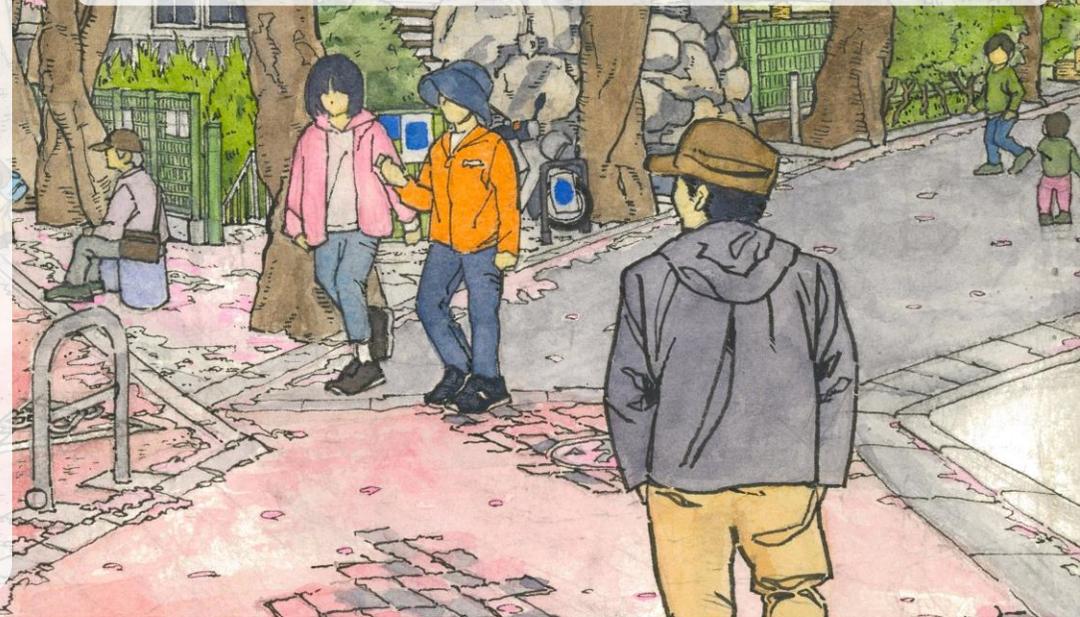
出典：日本花の会

最後に：板橋区観光協会の想い

板橋区を代表する観光名所「板橋十景」に選定されている「石神井川の桜並木」は、毎年春になると美しく咲く桜を見に、多くの方が訪れます。また、板橋区民にとって、日常に溶け込んだ原風景となっています。そんな桜並木を次世代に残すため、過酷な環境で懸命に生きる桜並木の“いま”をあなたに知ってほしい。私たちができることを知ってほしい。あなたも、私も、桜を大切にしたいと思っている大勢の中の一人では？でも、桜との接点が違えば、感じ方や考え方は異なります。それぞれの桜への想いを知って、何ができるか……

板橋区観光協会は、石神井川の桜並木を守り、後世へ残していくため真剣に・ふざけるプロジェクトを始動します！

石神井川桜並木の未来を創造する
「さく×labo」プロジェクト
- 知ってほしい、桜並木のいま -



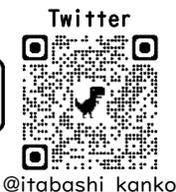
☎ 03-3579-2255

板橋区観光協会

〒173-0004
東京都板橋区板橋二丁目65番6号



FOLLOW
US!!



板橋区観光協会では、大切な観光資源である石神井川の桜並木を守るため、板橋区で活動されている方と協力し、桜にまつわる“面白いこと”を通じて、桜の保全について啓発するプロジェクトを進めていきます💡

第1弾は…「ITABASHI SAKURA WEEK 2023」!!
詳しくは左記の二次元コードをご確認ください





今はまだキレイに見える石神井川の桜並木ですが、都市部の狭く厳しい環境で老朽化が進み、樹勢の劣化や倒木の危険性が生じたため伐採を余儀なくされています。

桜が弱ってしまう原因

- ・空間不足 樹木や建物との競合、狭い植栽樹など
- ・日照不足 周辺樹木とかぶる、住宅による日陰など
- ・土壌条件 水はけが悪い、土が固いなど



植える間隔が狭い



転落防止柵への接触



狭い植栽樹 (根が広がれない)



キノコが生えている (木が弱っている)



朽ちてしまい伐採される

目で見て、桜からのメッセージに気付いてあげる

普段から桜を観察するポイント



出典：日本花の会

板橋区(管理者)が取り組んでいること



木の間隔を空けて周辺樹木とかぶり(日照不足)を解消



植栽樹を広げて根をはる空間を確保